

健康づくり推進計画の指標管理（いきいき健康づくり・総合計画・総合戦略による評価項目）【R2年度実績】

「健康づくり推進計画」に関する指標について、【指標】【令和2年度 確定】【目標値（R5年度またはR2年度）】【目標値に対する傾向】を以下のとおり報告します。  
 なお【目標値に対する傾向】は、且目標値に対して達成している項目を（◎）目標達成、平成24年度（総合計画・総合戦略は平成27年度）から令和2年度に改善傾向の項目を（○改善）、低下傾向の項目を（△低下）、また、令和2年度については、新型コロナウイルスの影響により順調に推移していたが、事業未実施や大幅な数値低下となった項目を（●）新型コロナウイルス関連と評価しています。

1. いきいき健康づくり

(1) 食生活分野の目標と指標

指標	計画策定時の値 (H24年度)	R1年度	R2年度 実績	目標値 (R5年度)	備考: 目標値に対する H24値→R2値の傾向等 (◎目標達成○改善●新型コロナウイルス関連△低下)
1 幼児(肥満傾向の子どもの割合)※肥満度15%以上	5.1%	6.0%	5.9%	減少傾向	△ 継続して保育園、3歳児健診等で生活習慣病予防を含めた肥満予防対策強化を行う
2 小学校4年生(肥満傾向の子どもの割合)※肥満度20%以上	男性5.7% 女性7.2%	男性10.4% 女性7.7%	男性10.2% 女性6.1%	減少傾向	男性△女性○ 学校と連携して該児童等の心理面に配慮しながら指導を行うとともに、保護者や祖父母にむけた意識付けや啓発活動を行っていく。
3 適正体重を維持している人の割合 中学校1年生(肥満傾向の子どもの割合)※肥満度20%以上	男性5.9% 女性11.8%	男性11.9% 女性6.9%	男性13.7% 女性11.7%	減少傾向	男性△女性○ 学校と連携して該生徒等の心理面に配慮しながら指導を行うとともに、保護者にもむけた意識付けや啓発活動を行っていく。
4 40～64歳(BMI25以上の人の割合)	男性25.3% 女性17.9%	男性29.2% 女性18.3%	男性34.3% 女性21.1%	男性22%以下 女性15%以下	男性△女性△ 健診での質問票から読み取れる食行動に着目し、時間栄養学を取り入れた講座や働き世代へのアプローチを強化。多世代に働きかけ、生活習慣の改善を図る。
5 低栄養傾向の高齢者(BMI20以下の割合)	21.7%	19.5%	20.4%	26%以下	◎
6 幼児	93.0%	94.9%	96.8%	100%	○
7 小学校	89.1%	88.0%	92.0%	100%	○学校と連携して児童や保護者への食育の充実を図る
8 中学校	88.3%	88.0%	87.0%	100%	△学校と連携して児童や保護者への食育の充実を図る
9 朝食を毎日食べる人の割合 20代	57.1%	R1:健幸アンケート未実施(隔年実施)	65.1%	85%以上	○
10 30代	77.4%	R1:健幸アンケート未実施(隔年実施)	87.5%	85%以上	◎
11 40～60代	85.1%	R1:健幸アンケート未実施(隔年実施)	89.7%	90%以上	○
12 ほぼ毎食、主食・主菜・副菜をそろえて食べる人の割合	63.7%	R1:健幸アンケート未実施(隔年実施)	61.5%	80%以上	△健康教育の強化と視覚的啓発ツールの作成、食関係団体と連携した普及啓発の推進。
13 ごはんを中心とした日本型食生活につとめている人の割合	80.2%	R1:健幸アンケート未実施(隔年実施)	79.5%	85%以上	△食関係団体と連携した健康教育の充実を図る。
14 共食を心がけている保護者の割合(幼児)	81.9%	95.9%	96.5%	90%以上	◎
15 学校給食における地元産農産物を使用する割合(重量割合)	26.2%	35.5%	26.1%	40%以上	△天候の影響による出荷減少や発注量と生産量のアンマッチによる低下。関係部署や生産者と連携し改善を図る。
16 健康づくり支援店の数	22店舗	28店舗	28店舗	30店舗以上	○
17 食育に関心のある人の割合	72.6%	R1:健幸アンケート未実施(隔年実施)	74.4%	90%以上	○
18 食育の推進に関するボランティア数	124人	121人	140人	150人以上	○
19 喫煙者の割合	16.7%	R1:健幸アンケート未実施(隔年実施)	12.8%	12%以下	○
20 定期的に歯科検診を受ける人の割合(20歳以上)	33.2%	R1:健幸アンケート未実施(隔年実施)	42.4%	40%以上	◎
21 12歳児の1人平均むし歯本数(永久歯)	0.67本	0.40本	0.19	0.35本以下	◎

(2) 運動・スポーツ分野の目標と指標

指標	計画策定時の値 (H24年度)	R1年度	R2年度 実績	目標値 (R5年度)	備考: 目標値に対する H24値→R2値の傾向等 (◎目標達成○改善●新型コロナウイルス関連△低下)
22 健康運動教室継続者数	1,432人	1,351人	1,232人	2,000人以上	△ 健幸アンバサダーの活用や地域コミュニティや各種団体と連携を図り参加者の増加を図る
23 スポーツ施設の利用者数	165,814人	174,068人	120,576人	168,500人以上	●新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、施設利用の自粛要請および臨時休館などが原因で利用者数が減少。今後は、感染予防策を講じながら利用者の増加を図る。

(3) 生きがい分野の目標と指標

指標	計画策定時の値 (H24年度)	R1年度	R2年度 実績	目標値 (R5年度)	備考: 目標値に対する H24値→R2値の傾向等 (◎目標達成○改善●新型コロナウイルス関連△低下)
24 悠々ライフ参加延べ人数	4,835人	7,048人	3,258人	6,200人以上	● 新型コロナウイルスの影響により行事が出来ず減少した。コロナ禍が収まれば目標値を達成できる見込み。
25 市民活動・ボランティア連絡協議会加盟団体活動者の数	1,789人	1,627人	1,668人	2,100人以上	△ 高齢化等により、加入団体の構成員が減少傾向。未加入団体へ新規加入を促し、人数の増加を図る。
26 ストレスや不安を感じても、元気になる人の割合 ※感じない人を含む	79.2%	—	83.3%	80%以上	◎
27 自殺者(自殺率)の減少(10万人当たり)	26.6	12.7	38.5%	22.9以下	△ 全国的にも自殺者数が増加、市も同様に増加した。若年層の増加に対し、NPOと連携したSNS相談の周知や、関係機関の連携強化等により減少を目指す。

(4) 健(検)診分野の目標と指標

指標	計画策定時の値 (H24年度)	R1年度	R2年度 実績	目標値 (R5年度)	備考: 目標値に対する H24値→R2値の傾向等 (◎目標達成○改善●新型コロナウイルス関連△低下)
28 国保特定健診	50.6%	52.0%	44.9%	60%以上	● 新型コロナウイルス感染症の影響により健診時期の変更や、受入人数を定めた完全予約制の導入、受診控え等により受診者が大きく減少した。
29 胃がん検診	18.9%	28.6%	21.9%	40%以上※1	○ 感染症対策を実施した中で、令和元年度水準の検診日程を確保し、受診勧奨に努める。
30 大腸がん検診	28.9%	48.2%	44.9%	40%以上※1	○ 感染症対策を実施した中で、令和元年度水準の検診日程を確保し、受診勧奨に努める。
31 肺がん検診	42.4%	51.7%	45.8%	50%以上※1	○ 感染症対策を実施した中で、令和元年度水準の検診日程を確保し、受診勧奨に努める。
32 子宮がん検診(※子宮頸がん)	13.7%	33.9%	25.3%	50%以上※2	○ 感染症対策を実施した中で、令和元年度水準の検診日程を確保し、受診勧奨に努める。
33 乳がん検診	14.9%	40.3%	31.1%	50%以上※1	○ 感染症対策を実施した中で、令和元年度水準の検診日程を確保し、受診勧奨に努める。
34 国保 特定保健指導率	38.1%	42.1%	41.4%	60%以上	● 新型コロナウイルス感染症下、ワクチン接種事業等の業務量増大の影響もあり、実施率が伸びなかった。
35 国保 特定保健指導の該当者・予備群者減少率(平成20年度と比較)	35.3%	28.8%	31.6%	37%以上	○ 特定健診の受診勧奨を推進し、該当者の早期発見と特定保健指導等の指導実施率を向上させ、改善を図る。
36 高血圧有病率(140/90mmHg以上の割合)	29.8%	28.7%	35.3%	減少	△ 経年的には減少傾向にあったため、分析が必要。
37 血糖コントロール指標におけるコントロール不良者のうち、HbA1cがJDS値7.0%以上(NGSP値の場合7.4%以上)の割合 治療中、治療なしに分けて集計	治療中16.2% 治療無26.3%	治療中24.1% 治療無19.7%	治療中23.8% 治療無35.3%	減少	△ 特定健診の受診勧奨による早期発見と食事等生活習慣改善に向けた訪問保健指導に努める。

※1 がんの目標値は40歳以上70歳未満の受診率

※2 子宮がんの目標値は20歳以上70歳未満での受診率

2. 総合計画・総合戦略等の指標

指標	基準値 (H27年度)	R1年度	R2年度 実績	目標値 (R2年度)	備考:目標値に対する H24値→R2値の傾向等 (◎目標達成○改善●新型コロナ関連△低下)
38 ①かわまちづくりソフト事業参加のべ人数	1,600人	1,678人	437人	1,600人以上	●R2年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、4月に予定していた刈谷田川フェスティバルを中止したことで目標値には届かなかった。
39 ②見附テクノガーデンシティ新規雇用数(5ヵ年累計)	50人	41人	32人	毎年50人以上	△H29に用地が完売し、企業進出による雇用数は一時的に増えた年もあるがその後低調化している。新規雇用数の維持に向け、企業と連携周知を行う。 ※5ヵ年の新規雇用数平均42人/年
40 ③企業を対象とした交流会や研修会等への延べ参加企業数	50社	76社	0社	50社以上	●令和2年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、交流会と研修会を中止したことで目標値には届かなかったが、令和元年度までは平均69社が参加しており目標達成とする。 交流会を通じて事業所同士の親睦も深まってきているため、今後は具体的な連携に発展するようコロナ収束後は再び開催する。
41 ④パティオ農産物会員販売の売上	93,000千円	113,000千円	114,000千円	108,000千円以上	◎
42 ⑤交通事故件数(1.1~12.31)	92件	53件	39件	80件以下	◎
43 ⑥自主防災組織参加世帯数の割合	88.0%	94.0%	94.0%	100%	○
44 ⑦1人1日あたりのごみ排出量	860g/日	867g/日以下	875g/日以下	835g/日以下	●新型コロナウイルスによる外出規制による家庭からの多量なごみ出しや、食品のテイクアウト需要が高まり、それら容器類などの排出が多くなり、前年度比増となった。多種多様な製品の増加によりリサイクル・分別意識の低下とならないよう、意識向上の啓発活動を継続する。
45 ⑧エネルギー起源Co2排出量	287千t	250千t	251千t	273千t以下	◎
46 ⑨自分の住んでいる地域が好きなお子どもの割合	90.0%	94.0%	95.0%	90.0%	◎

	指標数(46指標)	R2評価状況
◎ 目標達成	10.0	21.7%
○ 改善傾向	16.0	34.8%
● 新型コロナ関連	7.0	15.2%
△ 低下傾向	13.0	28.3%
合計	46.0	100.0%

令和5年度の目標年度に向けて、  
約71.7%が順調に推進されています。

※「男女別(指標2、3、4)」、「治療中・無(指標37)」の2種類で指標管理する項目は、それぞれ0.5でカウントしています